

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況

No.10 令和元年5月～令和元年6月

胆江地区衛生センター

■ 基幹的設備改良工事の火入れ式を行いました。

火入れ式とは、更新した焼却炉ではじめてごみに着火（火入れ）する際に、安全を祈願して行う儀式です。

5月で2号焼却炉の設備更新が完了し、工事の工程が一区切りを迎えました。このことから、5月30日に工事を請け負った㈱タクマ東京支社主催による火入れ式が行われ、工事関係者のほか、仙人地区環境対策協議会の方々にも出席をいただき、施設の安全な稼働を祈念し焼却炉への点火を行いました。



■ 本格運転に向けて各種点検や試運転を開始しています。

火入れをおこなった2号焼却炉は、稼働前の準備作業である乾燥焚かんそうだき（炉内の水分を飛ばし、耐火設備の強度を上げる作業）とボイラーのソーダ煮（薬品を入れた水を巡回させて汚れなどを取り除く作業）を終えて、6月13日から実際にごみを燃やして行う負荷運転調整を開始しました。

また、9月からの2号焼却炉の本格運転に向け、各種設備の最終点検等も進めています。